



『いえができるよ』

パイロン・パートン／さく ながわちひろ／やく
好学社 ¥1,650 (税込)

緑の原っぱにブルドーザーで穴を掘り、板を埋め込み、セメントを流す。床や壁を作り、水道や電気の工事をして、だんだんと家ができて上がる。私たちの家ができたまでの工程を、色鮮やかな絵とわかりやすい言葉で、シンプルに描いた絵本。



『おせち』

内田有美／文・絵 満留邦子／料理 三浦康子／監修
福音館書店 ¥1,100 (税込)

「おせち」は、今年も良い一年になるようにというみんなの願いが込められた、日本の伝統料理。写真と見まがえるほど美しい絵とともに、それぞれの料理のいわれをリズムカルに伝え、日本の豊かな食文化をわかりやすく紹介する。



『じゅんばんじゅんばんじゅんばんですよ』

accototo／さく
大日本図書 ¥1,650 (税込)

桜の花びらがそっと触れると、サナギはチョウになり空に飛び立つ。チョウが降りたタンポポの綿毛が空に消えると、季節は静かに夏に近づく。「じゅんばんですよ」の言葉のバトンで四季は巡り、その美しさやかけがえのなさに気づかされる。



『たいせつなたまご』

キッチンミノル／著
白泉社 ¥1,320 (税込)

にわとりは、1日1個しか卵を産まない。この「たいせつな」おいしい卵を産む健康なにわとりたちを、たくさんのスタッフが手をかけて育てる様子や、産まれた卵がお店に並び、食卓に届くまでを学ぶことができる写真絵本。



『だっこだっこらっこ』

ねこしおり／文 植垣歩子／絵
アリス館 ¥1,265 (税込)

「ママ、だっこー」と小さな男の子が叫ぶと、「ぼくのこと よんだ？」と、らっこが登場。男の子が「だっこー！」と叫ぶたびにいろいろな動物が現れ…。繰り返しのリズムが楽しい、言葉遊びの絵本。0歳から3歳におすすめの一冊。



『たれてる』

鈴木のリたけ／作
ポプラ社 ¥1,210 (税込)

ドーナツにチョコレートをたっぷりかけたら、「あれ ちょっと かけすぎじゃない?」「あーもう! たれてる たれてる」。垂れたチョコレートはどこへ行く?親子で一緒にドキドキしながらページをめくり、次の展開を楽しめるユニークな絵本。



『なっちゃんがちっちゃかったころのおはなし』

鍋田敬子／さく
福音館書店 ¥1,100 (税込)

なっちゃんは、お母さんから自分が小さかった頃の話聞くのが大好き。「ピカピカのマめっこ」のように小さく小さく生まれたなっちゃんは、両親と兄たちに愛されながら、だんだんと大きくなり…。ユーモアあふれる、温かみのある絵本。



『りんごりらっぱ』

あべけんじ／作
福音館書店 ¥1,100 (税込)

りんごとごりら、つなげて読むと、りんごりら。ラッパもつなげて、りんごりらっぱ。パンダもつなげると…?しりとりをしながら言葉をつなげて遊ぶ、言葉遊び絵本。ステンシル版画で描かれた、温かみのあるかわい絵も魅力的な一冊。

★ その他のおすすめの本 ★

『うまうまあーん!』

エヴァ・モンタナリー／さく まつかわまゆみ／やく 評論社 ¥1,540 (税込)

『おかああらうのみーせて』

もりといずみ／作 きくちちき／絵 講談社 ¥1,430 (税込)

『おちば』

おーなり由子／ぶん はたこうしろう／え ほるぷ出版 ¥1,650 (税込)

『くらくてふかいもりのおく』

デルフィーヌ・ブルネ／作・絵 ふしみみさを／訳 ひさかたチャイルド ¥1,430 (税込)

『ケーキ』

小西英子／さく 福音館書店 ¥990 (税込)

『しごととどうぐ』

三浦太郎／作 偕成社 ¥1,870 (税込)

『すごいぜほんのちからって!』

ディディエ・レヴィ／ぶん ロレンツォ・サンジョ／え はしづめちよこ／やく イマジネーション・プラス ¥1,870 (税込)

『チューリップさいた』

くすのきしげのり／作 よしむらめく／絵 Gakken ¥1,650 (税込)

『トドにおとどけ』

大塚健太／作 かのうかりん／絵 パイ インターナショナル ¥1,540 (税込)

『なんのくるまにのるのかな?』

小輪瀬護安／さく 福音館書店 ¥990 (税込)

『にじ』

武田康男／監修・写真 小杉みのり／構成・文 岩崎書店 ¥1,430 (税込)

『ねえだっこ』

柿木原政広／作 ブロンズ新社 ¥1,210 (税込)